

## 市営バス自由乗降について

### (1) 「神山線」の自由乗降試験運行の取組み内容について

項目	取組内容
① 目的	市営バス運行は、予め決められたルートを定められた時刻に運行し、利用する方は運行ルート上に設置されたバス停で乗降する定時定路線運行を行っています。 その中で、停留所が遠い、歩行が困難で停留所まで行くのが大変だという利用者の要望があることから、利用環境の改善を図るため、歩行距離の短縮、自宅付近での乗降を可能とした「自由乗降」を試験的に取組み、利用促進につながるか否かを確認する。
② 試験運行期間	平成 25 年 10 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで
③ 運行内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神山線を運行する 2 台の市営バスで実施。</li> <li>・ 水原地区の中心部と国・県道、市営バス路線が重複する経路を除いた運行経路上の自治会内を自由乗降区間に設定。</li> <li>・ 神山線運行便数 10 便のうち、9 便の自由乗降を実施。 ※朝の 7 時台の運行のみ、通勤時間帯のため未実施</li> </ul>

### (2) 取組結果と今後の方針について

#### ①取組結果（自由乗降を運行した時間帯の集計（朝 7 時台、小中学生利用は除く））

【神山線】	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
昨年同月利用者数	427	429	450	458	423	464	2,651
H25 年度利用者数	441	398	464	413	415	446	2,577
内自由乗降利用者数	未集計				95	112	207
利用割合	未集計				22.8%	25.1%	24.0%

※乗降者の記録に不備があったため、未集計としています。

※全体利用者数から小学生の利用を差し引いています。

※合計の利用割合は、2～3月の2か月分に対する割合を示しています。

#### ②利用状況

- ・ 利用者の声として、バス停まで行かなくとも乗れるのでとても良い、継続して実施し利用できるようにしてもらいたいという声があった。
- ・ 利用が少ない路線を試験運行したため、自由乗降の利用者は固定した利用者が多かった。
- ・ 運転手からは、急に手を上げる方や急いで道路を横断する方がいたので危険を感じたという意見があった。

## ③今後の方針

・ 神山線の自由乗降を継続して実施する

利用者の2割程度に留まっているが、バス停まで行くことが困難な方の移動が確保されており、市営バス利用の維持にもつながっている。

また、自由乗降利用者からは好評を得ていることから他の方への波及も考えられ、更に継続し、利用環境の改善から利用増につなげたい。

・ 他路線でも試験的に実施する。

- ① 駒林線 ー 駒林地区
- ② 千唐仁線 ー 西岡～水ヶ曾根、千唐仁・野田・新座地内
- ③ 江端線 ー 上中野目～熊居新田
- ④ 寺社線 ー 境新田～庵地（五十嵐瓦工業前）
- ⑤ 大室線 ー 赤水～蒔田、押切～原、福井